

7月29日、登米市を会場に行われた第47回県消防操法大会で、登米市消防団が2種目を制し、見事総合優勝を果たしました。登米市代表として出場した津山支団と大会を支えた人たちを紹介します。  
(16～19ページ)

# 地元開催で 総合優勝



▲水の圧力に負けないよう、ホースを体全体で支え目標を捉えます

## 夏 迫でマリンスポーツフェスティバル の楽しい思い出作り

小学生の交流やマリンスポーツの普及を目的とした「登米市マリンスポーツフェスティバル」が7月24日、長沼ポート場で開催され、市内の小学生58人が参加しました。指導員から、ライフジャケットの着用方法や活動上の注意事項の説明を受けた後、カヌー体験や水上サバイバルゲームなどのレクリエーションをしました。また、水辺の安全教育として、疑似救助も体験しました。参加した児童は、普段できない遊びに笑顔で元気いっぱい活動し、夏休みの楽しい思い出を作っていました。



▲水鉄砲で相手ボートの的を射ぬく水上サバイバルゲーム



▲自分でデザインを考え丁寧にカマ神様を彫る受講者の皆さん

## 現代に蘇る火防の神 津山公民館定期講座

一家の安全を守り、火防の神として祭られていた「カマ神様」を、地元の木材を使い、現代のカマ神様として蘇らせようと、津山陶芸館において「カマ神彫刻講座」が開催されました。この講座は、津山公民館定期講座として7月から合計6回行われ、9月2日に完成する予定となっています。受講者は、大崎市岩出山の千葉照男さんの指導を受けながら、思い思いに自分でデザインしたカマ神様を、「木づち」や「のみ」、「彫刻刀」などの道具を使い、丁寧に集中して彫っていました。

## 交 葛籠淵地区で交通死亡事故ゼロ5,500日達成 通死亡事故ゼロ継続中

登米町葛籠淵地区の交通死亡事故ゼロ5,500日達成表彰式が8月6日、登米総合支所で行われ、市交通安全対策協議会から葛籠淵地区コミュニティ推進協議会へ表彰状が贈られました。葛籠淵地区は15年間交通死亡事故ゼロ日数を継続しており、市内のコミュニティ協議会で2番目に長い日数となっています。葛籠淵地区コミュニティ協議会横澤健二副会長は「今回の表彰を地域で分かち合い、今後の交通安全の取り組みに生かし、この日数を6,000日、7,000日と積み上げていきたい」と決意を述べました。



▲今回の表彰により更なる交通安全への意識の高揚が期待されます